

2017
12月1日
金曜日

建設新聞

バイオ製剤販売など環境関連事業を行っているNEO東北(仙台市 志賀清彦代表取締役)は、アスファルトプラント特有の臭気問題対策に高い効果が見込まれる臭気中和添加剤「エコソープ」の販売を開始し好評を得ている。



一斗缶(18L)



ドラム缶(200L)

NEO東北

天然抽出成分エコソープの販売を開始

これまでアスファルト工場では石油製品特有の悪臭対策が課題とされ、根本的に臭気を分解する中和剤が求められてきた。エコソープは、松、レモン、ピヤクタン、落花生などを原料とする天然抽出成分であることが大きな特徴で、有機系、無機系のいずれの臭いにも効果を発揮する。多くの脱臭システムとは異なり、アスファルト自体の臭いを簡単にコントロールすることが可能。専用の噴霧装置が不要な点も大きな利点だ。

10Lの液状アスファルトにわ

臭気対策に効果大

ずか約0.8〜1畝のエコソープを添加するだけで、その効果は処理作業中から最終的な製品でも消臭効果を持続させることができるという。

東北ではまだ珍しいエコソープ。志賀代表は「独立した研究機関により試験済みで、アスファルトの特性に影響を及ぼさないことも証明されている。アスファルト工場周辺だけでなく、舗装作業など現場周辺の臭気対策も改善されるはず。東北ではまだ認知度が低いですが、悪臭問題や環境改善に少しでも貢献

できれば」と話している。

すでに複数の納入先から、大きな改善効果があったという評価を得ており、最近では福島ふたばアスコン(福島県植葉町)が約1カ月前から試験的に導入を開始している。同社の赤間俊浩工場長は「工場周辺の住民の方々への配慮のために効果に期待している。今後、試験結果の検証作業に入っていく段階」であるという。

問い合わせは、NEO東北(☎022-762-5142)まで。商品の詳細は同社HP(<http://neoohoku.com/>)参照。